

令和5年度 福島市在宅医療・介護連携支援センター 事業計画

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① (ア)地域の医療・介護資源の把握	包括、病院 MSW へ訪問	包括訪問			MSW 訪問			MSW 訪問							
	専門職・市民へ周知	県北緩和ケア社会資源情報 作成協力													
(イ)課題抽出と対応検討	各会議等で意見交換	活動と課題		運協会議								運協会議			
	オレンジプランワーキング		会議		会議				会議				会議		
(ウ)切れ目ない在宅医療	在宅医療機関の現状と課題を把握	施設看取り、現状把握アンケート					集計		取組む課題を整理						
	MSWと地域医療会議			MSW、CWと意見交換											
② (オ)相談受付	相談受付・記入・集計	随時													
	関係機関への課題と対応策の検討及び提案	随時													
(キ)市民啓発	市民向け講演会					企画					依頼者準備	打合せ	3/21 講演会		
	市民向けミニ講座	随時、包括と協働													
	看病、介護講座	①			②			③							
(工)情報共有の支援	退院調整ルール評価	モニタリングアンケート調査依頼					集計		評価研修準備、研修						
	ICT 説明・活用研修会	ICT 相談受付						活用・実践事例研修							
	在宅支援確認シート作成	在宅診療報酬算定チェックリスト作成													
(カ)研修企画	研修会企画・開催	(認知症)				①認知症ケア		②認知症スクリーニング				③認知症対応力カステップアップ			
		(在宅医療・終末期)						終末期支援研修							
	他職種研修と開催協力	随時					ふくふくオレンジフェスタ オレンジライトアップ周知								
③ 対策の評価・改善	①退院調整ルール連絡漏れ率 (プロセス評価) ②自宅死亡率 (プロセス評価) ③在宅医療の訪問患者数 (プロセス評価) ④在宅医療の訪問患者率 (アウトカム評価) ⑤自宅看取り数 (プロセス評価) ⑥診療所数 (ストラクチャー評価) ⑦在宅療養希望率 (プロセス評価)			(評価指標根拠)			①県北地域退院調整ルールアンケート ②厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ」 ③④県北在宅緩和ケア社会資源情報 ⑤⑥厚生局 自宅看取り数、在宅療養支援診療所データ取寄 ⑦福島市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査						改善に向けた事業計画		

令和5年度 4月～9月 福島市在宅医療・介護連携支援センター 活動報告

(ア) 医療・介護資源の把握

令和5年度計画 (Plan)	活動内容 (4月～9月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
<p>①ホームページ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集(医療・福祉)と提供 ・各団体の研修案内ページの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの周知、随時情報の更新 ・事業所検索にもの忘れ相談医を追加掲載 ・各包括、医療機関等の活用できる情報を随時追加掲載 ・出席できない方へ研修会報告の掲載 (写真、アンケート結果) ・ホームページ閲覧数 月平均3,128件 (1日平均104件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所で発信したい情報を当センターホームページを活用し情報の共有を図ることができた ・病院、包括関係で活用している ・歯科、老人施設等の掲載を検討
<p>②専門職・関係者、市民への周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の把握のため市内地域包括支援センター訪問22か所 (6～8月実施 把握した現状のまとめは【資料】参照) ・県北地域在宅緩和ケア社会資源情報誌の作成協力 ・もの忘れ相談医の把握 (随時更新) 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院との連携について地域の情報把握を継続 ・地域課題をまとめ、当センターHPにて周知し専門職と共有

(イ) 課題抽出と対応検討

令和5年度計画 (Plan)	活動内容 (4月～9月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①運営協議会意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 7/13 令和4年度下半期事業報告 第2部「福島市における在宅医療についての意見交換会」 (市役所) 	<ul style="list-style-type: none"> 各専門職の立場から、現状や課題を聞く機会は貴重である 出された意見をもとに、福島市と課題を共有し業務に活かしていく 在宅医療の4つの場面の支援（日常の療養、入退院、急変時の対応、看取り）シート案を作成する
②地域会議への参加 (事業活動について報告)	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、包括ケア推進室、市保健所地域医療政策室と定例会の開催（4/24,5/30,6/26,7/24,8/28,9/25）し在宅医療・介護連携推進事業について福島市と協同で現状と課題を共有 4/26 地域包括支援センター事業説明会 (市役所) 6/9 県認知症とケアを考える会 (福島テルサ) 6/30 福島市オレンジプラン推進委員会 (市民会館) 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月定例会を開催して随時、相談内容から地域の課題を報告 現状分析、課題抽出、目標設定の取組が必要である 各会議に参加し、共通している地域の取組や情報、課題等について協力している
③関係団体会議出席	<ul style="list-style-type: none"> 5/25令和5年度 福島市医療と介護のネットワーク総会・定例会 19団体 36名参加 事務局として役員会及び定例会の案内、活動支援を担っていく 5/16、8/8 オレンジプラン推進委員会ワーキング会議 (もの忘れ相談医対象連携強化研修・包括との連携強化に対する事業実施の協力・認知症を有する方への虐待対応に関する意識調査) 福島市介護支援専門員連絡協議会役員会 (5/13,7/11) 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度、組織化し安定した活動を行う団体となった。地域包括ケア推進にむけて協働している もの忘れ相談医への連絡など市医師会の協力を得られている 認知症支援、連携の課題についての情報を確認、把握する実践に向けた準備会議であり積極的に協力している

(ウ) 切れ目ない在宅医療

令和5年度計画 (Plan)	活動内容 (4月～9月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①在宅医療機関の現状と把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県北緩和ケア社会資源情報にて状況の確認 ・ 施設看取りについて、行っているところを聞いていく。 アンケート調査の準備 (10月調査票配布)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅看取り支援においてチームが機能している。今後は福島市の在宅医療のニーズと充足率を明確にしていく ・ 施設看取り率が低いことに関して、看取りの現状を把握するアンケートを実施
②アウトリーチ (同行) 支援システムの構築	現在実施している、大崎市、松戸市、横須賀市医師会の資料を参考に、方法、手順、依頼文書を準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師のアウトリーチに対するニーズがある実施できる体制準備 について市医師会へ相談。進んでいない現状がある。 ・ 計画案を医師会へ提出し協議していく
③MSWとの地域医療会議	4/15①MSWとケアマネジャー交流会 参加者39名 (ZOOM) 9/2 ②MSWとケアマネジャー交流会 参加者33名 (県文化センター) <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療ソーシャルワーカーと福島市ケースワーカーとの合同研修会を開催協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ MSWとケアマネの連携強化のため合同研修を定期的に継続していく。 ・ 福島市ケースワーカーとの研修は未定。年一回は開催したい
④医療と介護のネットワーク充実支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局として運営協力 役員会 (4/20, 6/15, 8/21) 及び定例会 (5/25) ・ 定例会準備ワーキンググループ (6/30, 8/10, 8/29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステム構築のための重要な機関となってきた。 ・ 今後、福島市の医療、介護、福祉における具体的な課題を共有し解決に向けた取組を行う

(工) 情報共有の支援

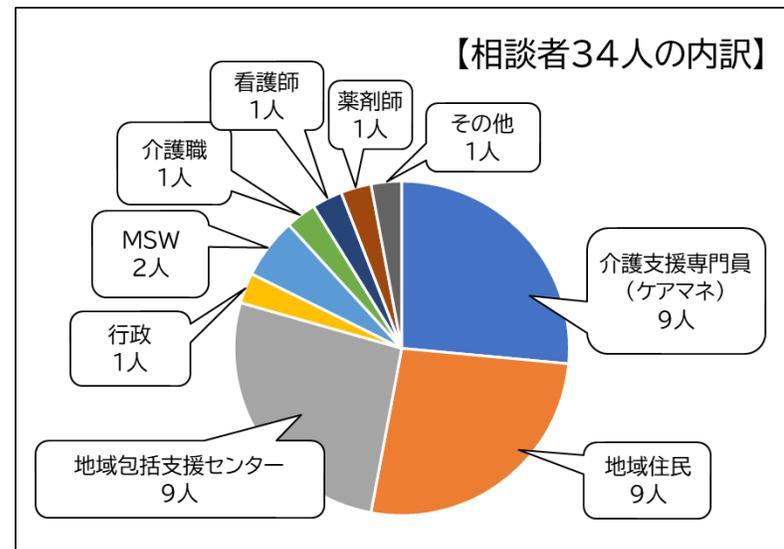
令和5年度計画 (Plan)	活動内容 (4月～9月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①退院調整ルール評価	<p>「退院調整ルール評価アンケート」 福島市分の調査票送付 (居宅90箇所、包括22箇所) 回収、集計の協力 回収率を上げるため、締切後に電話で確認</p> <p>回収：居宅85/89箇所、包括21/22箇所 もれ率：予防22.7% 介護8.0% 全体11.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年9年目。連携は取れているとの報告が多くなり、昨年度よりもれ率は減小。コロナが5類になった他、面談できない状況でお互いの情報のやり取りに経験値が上がっている ・今年度、集合による評価会議を行えるよう県北保福へ協力する <p>【参考】R4福島市の結果 回収：居宅85箇所、包括21箇所 もれ率：予防27.1% 介護12.8% 全体15.8%</p>
②ICT説明・活用研修会	<p>地域の活用状況についての情報収集を実施 (MCSから情報提供)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連携のため一部の医師が活用している。依然ICTの活用は進んでいない ・今後、MCSの活用を出前講座形式で準備。利用者への同意書など必要な書類を準備する ・診療所医師を中心にICTのチームを作ること当面の目標にする
③在宅療養支援者確認シート作成	<ul style="list-style-type: none"> ・包括へ訪問し身寄りのない人への具体的支援を確認 <p>一人暮らし高齢者世帯を見据えて、一人暮らしや身寄りのない方へ支援する際に必要な具体的な情報提供をしていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の支援として包括・MSW、ふくしえるから情報収集できた ・作成にむけた準備(情報収集)を進める ・ケースを想定しフローチャートの作成、ワーキンググループの設置も検討していく

(オ) 相談受付

令和5年度計画 (Plan)	活動内容（4月～9月）(Do)	評価(Check)/改善(Action)
①相談受付・記入	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 34件（月平均 5.6件） 時間外や土日祝も電話を受けられる体制を継続 	<p>【相談方法】「電話」79%「来所」18%「メール」3%</p> <p>【相談者】計 34人 内訳：ケアマネ 9件、住民 9件、包括 9件、行政 1件、MSW 2件、介護職 1件、看護師 1件、薬剤師 1件、その他 1件</p>
②相談内容の整理	<ul style="list-style-type: none"> 相談内容 延べ 44件 (1件の相談でも複数の相談項目有) 対応 延べ 48件 (対応項目も複数有) 相談内容、対応の内訳は グラフ 参照 	<p>【相談内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「医療の制度、サービスの情報提供」が最も多く、次が「ケアマネジメント」となっている。ケアマネから在宅医療のタイミングや方法、市民から入院中で在宅医療を受ける方法などの相談が多い 件数としては多くはないが、身寄りや身元保証人がいない方の入院・入所、の相談がある 家族からの相談では、ホームページ検索でヒットし相談する傾向がある。包括支援センターの連絡先をお伝えすることで済むケースが多いが、ケアマネや包括の対応が思うようでないとのこと、在タッチへ相談あり <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「担当窓口の情報提供・紹介」が「助言」の次に多い。具体的方法や、相談窓口を伝え、解決できないときは再度連絡をもらうことにしている 相談内容に問題が複数あるような困難ケースでは、話を聞き相談内容を整理して助言することが必要となっている。 相談内容を定例会、所内会議にて対応を確認している
③関係機関へ課題と対応策の提案	<p>定例会および運営協議会にて報告 相談実績から課題の検討</p>	<p>【実績からの検討課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 困難事例の相談に対応できるよう相談スキルを高めていくことが必要である 在宅医療や受診に関する相談に対しては、医師との顔の見える関係づくりやアドバイスを得られる仕組みの検討が必要 困難なケースから事例検討などを通して専門職と共有していくことも必要である

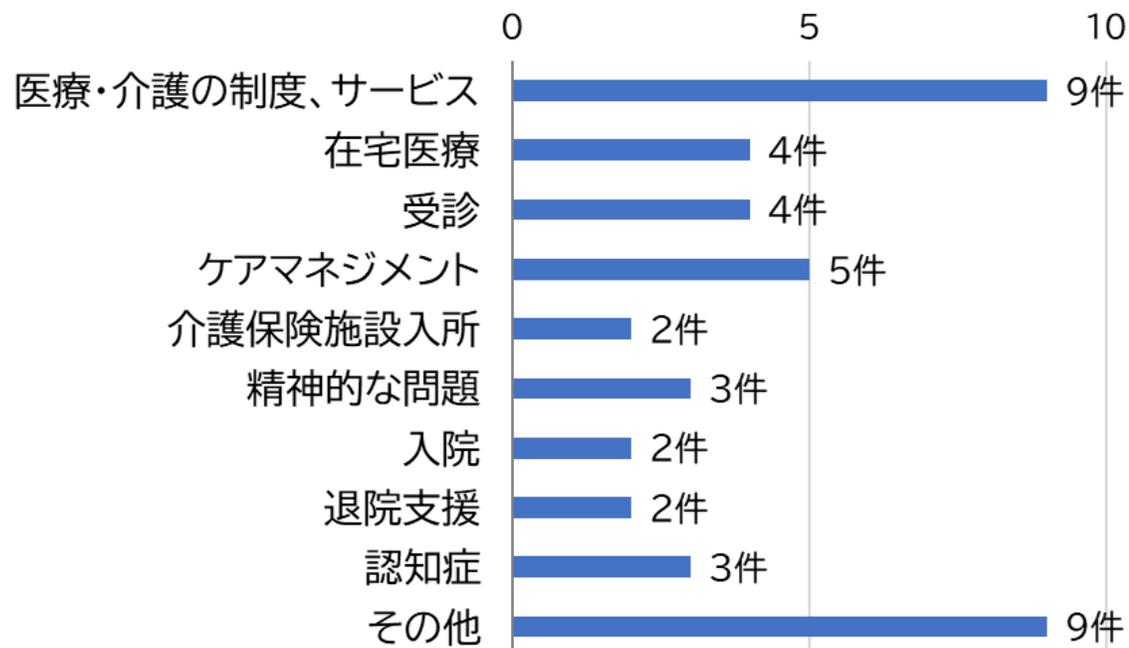
相談内容と対応

令和5年度上半期(4月～9月)相談件数 34件



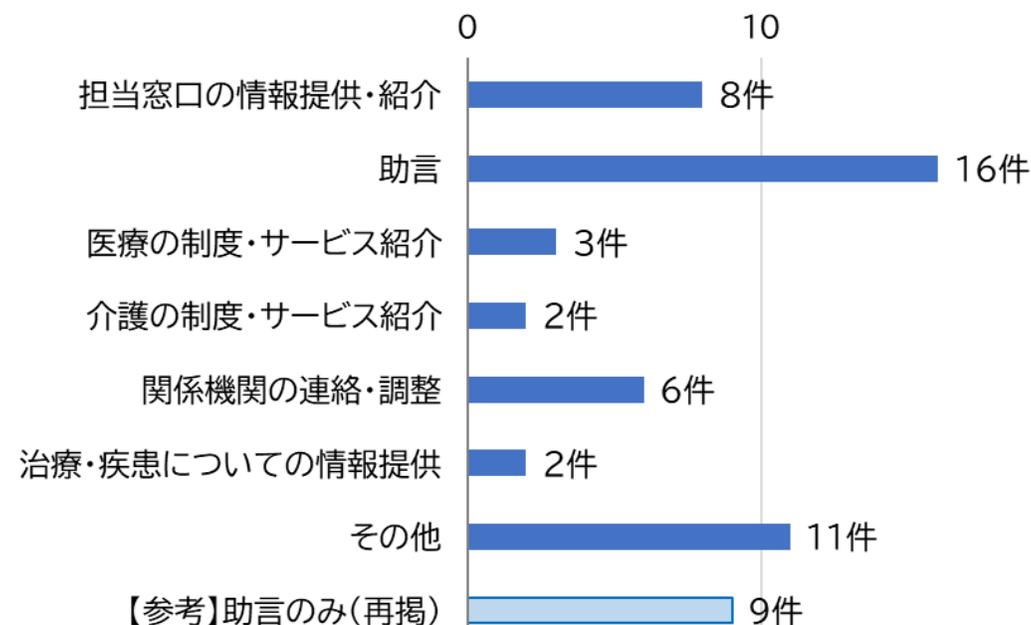
相談内容(延べ44件)の内訳

(件)



対応(延べ48件)の内訳

(件)



(カ) 研修企画

令和5年度計画 (Plan)	活動内容（4月～9月）(Do)	評価(Check)/改善(Action)
①研修会企画・開催	<p>・7/28 「医療・福祉セミナー」の実施（Web配信研修） 第25回「我が事、丸ごと。共に生き、共に支えあう福島市をめざして～知っておきたい！福島市共生社会推進課の取り組みとその現状と課題～」 共生社会推進課 朝倉係長</p> <p>You Tube配信 再生回数141回 視聴回線88回線</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の取組など知り連携が取りやすくなる情報提供を行った ・研修アンケートから集合研修が実施できるようになっても、Web配信研修のニーズはあるため継続していく ・研修申込みはGoogleフォームを活用し、業務負担軽減、ペーパーレスとなっている
②多職種連携研修会 他団体の研修会協力・案内協力	<p>9/21 ふくふくオレンジフェスタ開催 (アオウゼ) 事務局会議（7/31, 9/1）、実行委員会（7/10、8/7, 9/5）</p> <p>5/18 こころの声アンケート作成委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ZOOMミーティング、WEB配信での研修についてのアドバイス、撮影方法をできる限り協力する ・今後もイベントや研修開催等の支援をしていく
③主任介護支援専門員 フォローアップ研修	<p>包括連協ケアマネ部会等と連携しながら現状に合った研修を開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定事業所加算を取っている居宅主任ケアマネの協力も視野に検討する

(キ) 市民周知

令和5年度計画 (Plan)	活動内容 (4月～9月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
<p>①市民向けミニ講座</p> <p>(1) 在宅医療について</p> <p>(2) 私の人生ノート書き方</p> <p>(3) (1)(2)両方</p> <p>(4) もしバナゲーム</p>	<p>(1) 5/29 きらり健康生協三河台東支部 (23名)</p> <p>6/7 いきいきサロンしのづか (9名)</p> <p>6/29 南光台市民勉強会 (26名)</p> <p>7/11 サークル悠遊 (31名)</p> <p>7/13 渡利東町会 女性部 (22名)</p> <p>7/14 カフェことごと (20名)</p> <p>8/22 仲良しひがし会 (22名)</p> <p>(2) 8/23 不老の広場 (29名)</p> <p>9/6 いきいきサロンしのづか (9名)</p> <p>9/8 カフェことごと (8名)</p> <p>(3) 8/8 長滝サロン (11名)</p> <p>9/1 マスターズ8期生 (18名)</p> <p>(4) 4/21 たかさご会 (13名)</p> <p>7/5 いきいきサロンしのづか (8名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だよりの効果もありコンスタントに依頼あり。少人数での講座は自分のこととして考えやすい ・ アンケートを作成し、理解度を確認している。参加してよかったという回答が9割であった ・ 今後も出前講座に力を入れていく
<p>②包括・関係機関等への研修</p>	<p>「私の人生ノート書き方講座・もしバナゲーム」</p> <p>4/15 信夫包括 (6名)</p> <p>8/24 包括認知症地域支援推進員部会 (22名)</p> <p>「もしバナゲーム」</p> <p>6/8 福島薬剤師会 (16名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包括主催で実施できた。包括からの依頼が増えている ・ 「人生ノート書き方」は包括が主体となって進めていくよう働きかけていく
<p>③市民向け講演会開催</p> <p>市民のための看病講座</p>	<p>①在宅介護の全体像 ②看病の仕方 ③終末期、看取り</p> <p>講師 福島在宅緩和ケアクリニック 橋本孝太郎先生 他</p> <p>全3回コース 全参加者へ修了証発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ささえ愛カフェ 参加者 約13名 (5/25、6/22、7/27) ・ つむぎの会 参加者 約19名 (7/12、9/13、11/25) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル事業としてサークル活動をしている2箇所と看病の講座を開催。在宅医療や状態低下の流れを講義し看病のポイントを実技を行った。 ・ 参加者は看病について身近なこととしてイメージができた。準備に負担があるため今後の開催について検討が必要

関係市町村連携

令和5年度計画 (Plan)	活動内容 (4月～9月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
<p>近隣市町村や県内で開設している在宅医療・介護連携支援センターと情報共有や情報交換</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8/25 相馬郡医師会、行政へセンター設置について「福島市在宅医療・介護連携支援センターの情報提供」 ・ 8/30 県内センター連絡会 (ZOOM) 県内の各センター間でメディカルケアステーション (MCS) のグループ機能を活用して情報交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療の推進は近隣地域と協力して行う必要があり、連携を図れるよう協力する ・ センター間で情報交換、情報提供の継続

その他の対策

令和5年度計画 (Plan)	活動内容 (4月～9月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
① AYA世代のがん医療情報と支援取組	4/1～(開始) 福島市若年がん患者在宅療養支援事業の協力	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の事業化 福島市保健所地域医療政策室との情報交換を継続
② 障がい者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務を通して、障がい者(難病・精神等)に関わる内容について市保健所、障がい福祉課、医療機関と連携を図った 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援では、介護保険だけでなく、障がい福祉、難病支援、医療的ケア児支援等との連携も必要である ・今後も、センター事業に活かせるような情報交換を継続していく
③ 医療・福祉職人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・県介護支援専門員法定研修講師依頼への対応 主任介護支援専門員更新研修 (7/19, 25, 8/3) 介護支援専門員専門 I (9/7, 12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養継続のための在宅医療を理解しす人材が鍵となるため、教育、育成が必要 ・講師依頼があれば、協力していく
④ 学会、研修等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療連合学会への参加を前提に発表テーマを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン開催はいろいろな情報を視聴でき参考になるが、ポスター発表は閲覧しにくい ・開催会場へ参加できるとき発表する

福島市在宅医療推進に関する指標

	指標となる項目	令和5年度把握データ	評価の基準 (在タッチ設置前データ)
1	退院調整ルール 連絡もれ率	令和5年度 包括 22.7% 居宅 8.0% 計11.2% (県北退院調整ルール評価アンケート令和5年 6月、7月)	平成30年度 包括18.2% 居宅10.9% 計12.3%
2	自宅死亡率	23.7% 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ 集 令和3年度」 (更新日：令和5年5月9日)	19.1% 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ 集 平成29年」 (更新日：令和元年6月19日)
3	在宅医療の訪問患者数 (訪問実施実人数)	2,189人 令和5年3月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報 (令和4年調査・回答医療機関数 28か所)	2,961人 平成31年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報 (平成30年調査・回答医療機関数 31か所)
4	自宅看取り数・診療所数	479名・ 19か所 令和5年3月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報 (令和4年調査・回答医療機関数 28か所)	422名・ 23か所 平成31年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報 (平成30年調査・回答医療機関数 31か所)
5	自宅療養希望率	38.1% (できるだけ自宅で療養し必要なら病院 30.6%、自宅で最期まで療養7.5%) 37.0% (自宅で死を迎えたい) 令和4年度、介護予防・日常生活圏域二一ズ調査予定	40.4% (できるだけ自宅で療養し必要なら病院 32.2%、自宅で最期まで療養8.2%) 32.7% (自宅で死を迎えたい) 令和元年度、介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

※ 3,4 に関してはアンケート調査形式のため、確認作業もしくは東北厚生局へ情報を請求するなど、今後において参考となる指標にするための検討が必要